

## 科学研究費助成事業（科学研究費補助金）研究成果報告書

平成24年6月10日現在

機関番号：32657

研究種目：若手研究（A）

研究期間：2009～2011

課題番号：21686059

研究課題名（和文） 患児・家族・医療看護の視点による  
成長・発達の間としての小児療養環境評価基準の作成研究課題名（英文） Creation of evaluation criteria for child medical care environment  
as a place of child growth and development  
From the perspective of child patients, families and medical staff

研究代表者

山田 あすか（YAMADA ASUKA）

東京電機大学・未来科学部・准教授

研究者番号：80434710

研究成果の概要（和文）：本研究では長期加療を要する高度医療および精神疾患医療を提供する小児病棟のスタッフ・子ども・家族を対象とした調査により、環境への評価とニーズ、その構造を明らかにし、環境評価項目を導出した。また、この項目をもとに広く小児病棟の環境づくりの実態を調べ、項目を精査した。さらに、研究成果を踏まえて小児病棟プレイルームでの環境づくりを実践し、その検証を通して現場と環境づくりの意義や価値、また方法を共有する試みを行った。これらの成果をもとに、環境づくりの理念から具体的な環境のあり方に至る構造の図化と、websiteを通じたその発信に取り組んでいる。

研究成果の概要（英文）：In this study, based on a survey for child patients, families and medical staff in a child ward at a hospital in which advanced or psychiatric treatment for a long time is provided, their evaluation of and demands for child medical care environment and the structure thereof were identified, and evaluation criteria items for child medical care environment were derived. Using the evaluation items a wide actual situation survey of how the environment is being created in child wards was conducted, and then a close examination was made of the evaluation items. In addition, we implemented, based on the research findings, the environmental improvement of playroom in a child ward. It was followed by our attempt to share with the staff members who actually work in the place the significance, value and the method of creating better environment while verifying the improvement we have implemented. Consequently, we are presently working on new challenges: (i) a schematization of the structure from the environment creation principle to how to specifically create the environment, and (ii) the transmission of the information via the website.

交付決定額

（金額単位：円）

	直接経費	間接経費	合計
2009年度	2,600,000	780,000	3,380,000
2010年度	2,200,000	660,000	2,860,000
2011年度	2,300,000	690,000	2,990,000
年度			
年度			
総計	7,100,000	2,130,000	9,230,000

研究分野：工学

科研費の分科・細目：建築学 ・ 都市計画・建築計画

キーワード：小児療養環境，成長・発達，生活，環境への評価，環境評価基準

## 1. 研究開始当初の背景

近年、小児医療の分野では心疾患や悪性腫瘍等の難治性疾患の治療成績が伸び、病気や障がいを抱えながらも社会に戻るこどもたちが増えている。このため、特に中長期入院を伴う高度医療施設では、治療の場としてのみならず退院後の円滑な日常生活復帰やQOLの観点から、心身の成長・発達の間としても整えられる必要性が増している。

これまで小児の療養環境は、短期入院児に焦点を当てた遊び環境としての配慮や病棟のインテリアデザインが議論されることが多く<sup>文1-4)</sup>、生活や成長発達の間としての療養環境は十分に考えられていなかった。また、こどもの入院には家族が付き添うことが常態だがその存在は十分に考慮されておらず、患児と家族の療養環境の実態は十分に把握されていない。さらに根本的な問題として、小児病棟／病院には施設基準がなく、病院・病棟ごとの治療方針・スタッフ配置・患児／付添家族像などの特性に即して、「どのような環境が良い環境なのか」という基準が共有されていないという課題があった。川口<sup>文5)</sup>は環境看護学の必要性を説いており、具体的にどのような環境を提供すべきかや、望ましい環境についての知識や意識をいかに共有するかについて深化させた研究が望まれる。

1) 浦添綾子, 仙田満, 他: あそび環境よりみた小児専門病院病棟の建築計画に関する基礎的研究, 日本建築学会計画系論文集 NO.535 P.99 2000.9

2) 浦添綾子, 仙田満, 他: あそび環境よりみた小児専門病院病棟におけるプレイルームの建築計画に関する研究, 日本建築学会計画系論文集 NO.550 P.143 2001.12

3) 仲綾子, 仙田満, 他: 入院児のあそび環境意識調査にもとづく小児専門病院病棟の建築計画に関する研究, 日本建築学会計画系論文集 NO.561 P.113 2002.11

4) 鈴木賢一, 岡庭純子: 小児病棟における壁面装飾の印象と効果に関する研究, 日本建築学会計画系論文集 NO.625 P.511 2008.3

5) 川口孝泰: 看護における環境調整技術のエビデンス, 臨床看護 臨時増刊号, へるす出版, 2003.11

## 2. 研究の目的

本研究では、中長期の加療を要する小児医療を提供する小児病院と小児病棟において、患児本人と付添家族、病院スタッフの視点から小児の療養環境を評価する基準となる項目を導出し、その検証を経て環境づくりの提言を行うことを目的とする。

本研究の成果は、病院関係者への療養環境への意識と理解を深め、療養環境構築手法や理念の複数医療機関や他職種間での共有、小児の療養環境の向上に寄与すると考える。

## 3. 研究の方法

### 1) 療養環境評価項目の作成

まず、長期の加療を必要とする高度医療を提供する小児病棟3事例(地方中核病院, 地方の都市部にある地域医療中核病院, 都内総合病院)を対象として、こどもと家族の過ごし方の実態と、現在の環境への評価とニーズを調べる観察調査, アンケート調査, キャプション評価法調査, インタビュー調査を行った。これらの調査結果をもとに、環境づくりに際して考慮すべきことがらと環境へのニーズを療養環境評価項目としてまとめた。

また、長期の入院加療を行う児童精神科病棟3例(関東圏で、対象年齢層が異なるように選定)においても同様の調査を行い、環境評価の構造と環境へのニーズを整理した。

### 2) 療養環境評価項目の検証

1) の評価項目をもとに、全国の小児に関わる医療機関を対象とするアンケート調査を行い、療養環境の実態と、環境への評価を把握し、評価項目の検証を行った。

### 3) 環境づくりの実践と検証

1) の調査対象とした小児病棟1例にて、病棟の改築に参加し病棟プレイルームを中心に環境づくりの実践を行った。また従前・従後の使われ方と患児・家族・スタッフからの評価を比較し、環境づくりの検証を行った。

## 4. 研究成果

### 1) 小児療養環境評価項目の作成

中長期の入院生活を伴う高度医療を提供する3つの小児病棟において、患児、付添家族、病棟スタッフを対象に生活の様子や病棟を中心とした病院の環境の利用実態と評価を調べる一連の調査を行った(3.1))。

#### ■評価の構造

被験者が環境構成要素をピックアップして評価を行うキャプション評価法調査の結果を原刺激として、評価の理由と具体的な要望を評価の構造として聞き取るラダーリングインタビュー調査を行い、属性ごとに評価構造を整理した。この結果、評価構造の核は属性によって異なるものの、生活のしやすさや交流・遊びなどの生活の充実が治療への意欲に繋がり、ひいては治療や看護に貢献するという構造が属性によらず共通していることが明らかになった。

#### ■環境への評価の実態

環境評価構造をもとに、キャプション調査による環境への評価コメントを、評価の[対

象・理由]と属性によって整理した(図1)。

**医師** 評価[対象]は病室, スタッフステーション, 廊下, ロビー等病棟内外にわたり, 病院全体への関心が高い。[理由]には「処置しやすさ, 生活の意味づけやなじみ, 快/不快」が多く, 働きやすさと前向きな気持ちを持つことが主な評価形成要因と言える。

**看護師** [対象]の大半が病棟内の環境要素で, 病棟内への意識が強い。[理由]は「安全・衛生, 負担感, 前向きな気持ち」が多く, 自身の精神面の充実を重視する傾向がある。

**付添家族** 病室や廊下, 水周り, ロビーなど病棟内での生活圏での安全や広さへの関心が高いと言える。また「余暇活動, 快/不快」が特に多く, 生活が退屈でなく落ち着いていることを求める傾向が読み取れる。

**患児** [対象]の大半が, 主な生活圏である病棟プレイルーム, 廊下, 病室にある。[理由]には「生活の意味づけやなじみ, 余暇活動, 快/不快, 好奇心」が多く, 生活の手がかりや刺激, 安らぎが重要と言える。

**■環境評価項目の導出**

一連の調査と分析に基づき, 療養環境に求められる事柄を抽出し, 場所・対象と属性別に整理した(図2)。患児では生活への楽しみを保障する環境づくり, 付添家族では生活

や看護のしやすさと, 家族同士やスタッフとの交流による関係構築を助ける環境づくりが求められる。看護師では看護のしやすさや安全・衛生の管理面で環境評価項目が多い。医師では, 治療しやすい室や機器の整備とともに, 家族や患児同士での交流がありそれを観察できることが環境の評価項目となっている。

## 2) 環境評価項目の検証

以上で導出した評価項目をもとに, 全国の小児病院と小児病棟を対象に療養環境の実態と環境への評価を問うアンケート調査を行った。この結果をもとに, 環境評価項目による評価(環境構成要素の有無や要素への満足度)と, 場所ごとの総合評価の相関を分析した。各項目の環境評価への寄与率は, この相関が高い場合に高いと考えられる。同時に, 明らかに重要な項目であっても相関が低い場合には, 環境評価の軸そのものが評価者に適切に意識されていない可能性を示唆する。

総じて, こども病院では, 患児・家族・看護師・医師とも病室関連の項目と病室への総合評価の相関比が高いが, プレイルームでは相関比が低い。つまり, 病室がどうあるべきかは意識されているが, プレイルームがどうあればよいか認識されていない。一方小児病

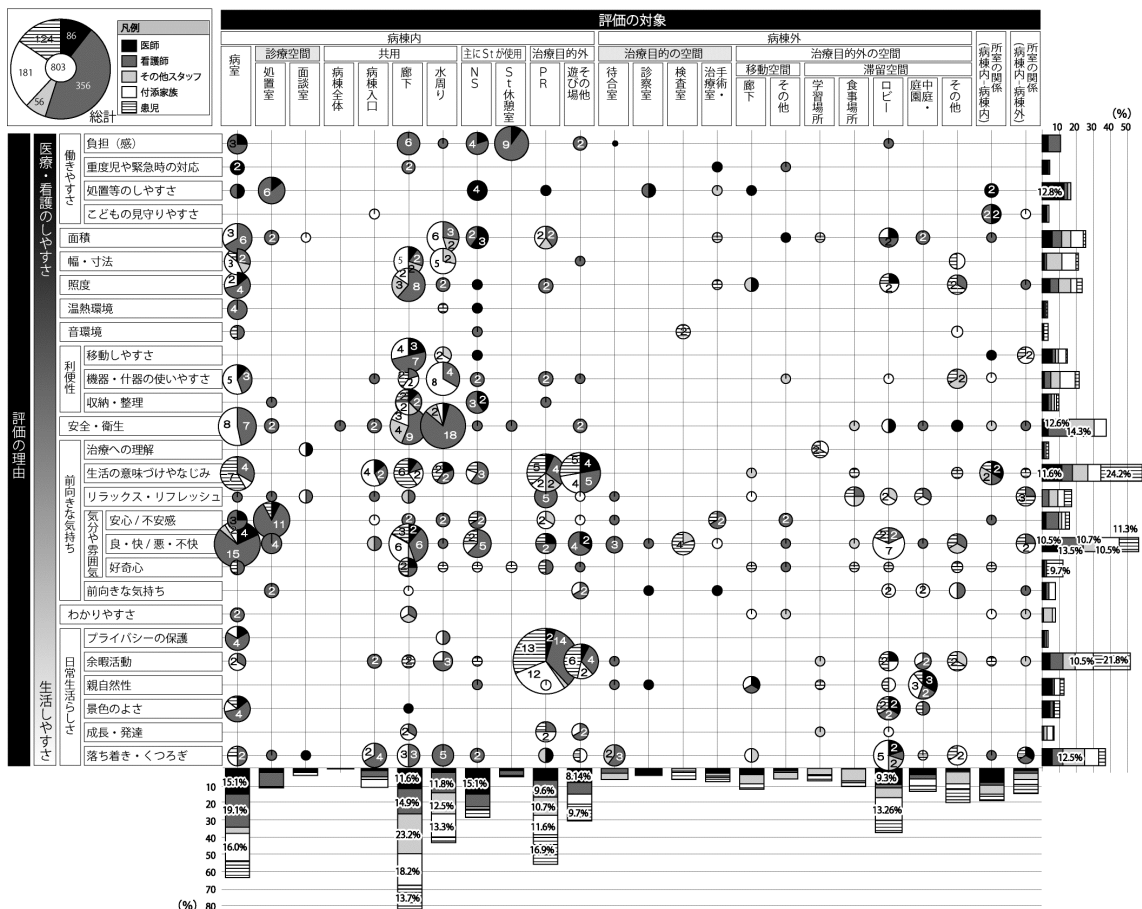


図1 属性別に見た評価の対象と理由の一覧

棟は面会室を除き全体に相関比が低いことから、小児病棟は環境全般のあり方の認識と環境評価が結びついていないと言える。

その他場所別の主要な知見では、[病室面積]等は総合評価との相関比が高いがいずれも評価は低く、面積不足が示唆される。[生活物品の収納スペース]も不足しており医療・生活面とも環境評価は低い。また病室備え付けの家具の有無と総合評価との相関が低く、スタッフが病室の家具と環境の質を関連づけて捉えていないと言える。廊下の印象には積極的な評価が少なく関心が低い。また廊下幅が狭いと評価されている。プレイルームは[患児の見守り可能な家族のスペース、複数の患児が遊ぶスペース]は特に相関が高く、重要な項目と認識されている。面会室は相関比が高く、面会や病状説明等のためのス

ペースがあることが評価されている。

この検証により、評価者の療養環境への意識の低さも明らかになった。小児療養環境はどのような姿が望ましいか、また環境づくりの選択肢や工夫の方法を現場に伝えること必要があると分かった。

### 3) 児童精神科病棟での療養環境評価項目

近年児童精神疾患の問題が肥大しているため、当初計画に加えて児童精神科病棟を対象としてその環境評価項目を整理した。

必要な療養環境に影響する病態の差異を踏まえ、開放/閉鎖、外部空間の条件等の環境が異なる3つの児童精神科病棟において、1)と同じ一連の調査を行った。この結果を基に、療養環境の構築に際しての理念から具体的な環境のあり方に至る環境づくりの構

場所・対象	患児	付添家族	看護師	医師
病室	<ul style="list-style-type: none"> <li>■各ベッドに窓があり、外を見られる</li> <li>■病室がわかりやすい</li> <li>■医療機器の音がしない</li> <li>■季節や季節がわかりやすい</li> <li>■壁紙やカーテンなど暖かみのある仕上げ</li> <li>■年齢性別に応じた設えになっている</li> <li>■照明が明るい</li> <li>■他の場所より天井が低い</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■各ベッドに窓があり、外を見られる</li> <li>◆作業やくつろぎのスペースが取れる</li> <li>■夜間就寝のスペースが充分</li> <li>■衛生管理がしやすい床仕上げ</li> <li>◆多床室やNSから見える部屋で、席を外せる</li> <li>◆入口から直接が見えない</li> <li>■ドアと生活空間の間に緩衝空間がある</li> <li>■壁紙やカーテンなど暖かみのある仕上げ</li> <li>◆機械音がせず静か</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>▲廊下から様子がわかりやすい</li> <li>▲△重症者病室がNSに近い</li> <li>▲△病室内で移動しやすい</li> <li>▲△医療器具が充分に入ること</li> <li>▲△壁紙やカーテンなど暖かみのある仕上げ</li> <li>□壁紙やカーテンなど暖かみのある仕上げ</li> <li>□各患児に適した環境に変えられる</li> <li>▲年齢階級で部屋を分ける</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>★多床室でありこともや家族が関われる</li> <li>▲個室が家族のニーズや看取りに対応できる</li> <li>▲廊下から様子がわかりやすい</li> <li>▲△病室内で移動しやすい</li> <li>▲△医療器具が充分に入ること</li> <li>□壁紙やカーテンなど暖かみのある仕上げ</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>●機器がむき出しでない</li> <li>■収納スペースがある遊具等が持ち込める</li> <li>■部屋(の近く)にトイレ・お風呂がある</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆部屋(の近く)にトイレ・お風呂がある</li> <li>●自分で衛生管理ができる用具がある</li> <li>●機器やゴミ箱にふたをつける</li> <li>■収納量や充分で生活物品を持ち込める</li> <li>■扉・アプルや扉が使いやすい</li> <li>■付添ベッドが充分な広さで、乗らぬ</li> <li>◆冷蔵庫がある</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●ゴミ箱にふたをつける</li> <li>▲酸素吸引が人数分ある</li> <li>▲△コンセント数が多い</li> <li>●コードを整理する</li> <li>▲△乳幼児入浴槽が設置されている</li> <li>▲△入浴スペースに聴診スペースを設ける</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>▲酸素吸引が人数分ある</li> <li>▲△コンセント数が多い</li> </ul>
廊下	<ul style="list-style-type: none"> <li>●廊下に余分なものがない</li> <li>□廊下型など散歩ができる構成や広さ</li> <li>□見た目に変化があり、いる場所がわかりやすく移動しやすさ</li> <li>●適度な硬度の床(移動しやすさと転倒時の安全性の両立)</li> <li>■防音性の床である</li> <li>■適度な照明、時間帯による照明の変化</li> <li>■窓があり明るく、外が見られる</li> <li>■家庭的な雰囲気</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●■◆(高満台や車いすを利用して)充分な広さ</li> <li>●○廊下に余分なものがない</li> <li>●患児の手がとどく所に危険なものがない(医療用コソの他の器具や用具)</li> <li>■カーペット、CFなど防音性の床仕上げ</li> <li>■適度な照明、時間帯による照明の変化</li> <li>■窓があり明るい</li> <li>■家庭的な雰囲気</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>▲廊下に余分な物品が出ていない(収納スペースが充分にある。ベッドサイズが統一され、ベッド移動が不要)</li> <li>▲廊下が広い</li> <li>■窓があり明るい</li> <li>▲朝日が見える</li> <li>■適度な照明、時間帯で照明を変えられる</li> <li>▲カーペット、CFなど防音性の床仕上げ</li> <li>▲△移動や清掃が容易な床仕上げ</li> <li>▲△医療用コソの一時置き場がある</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>▲廊下に余分な物品が出ていない(収納スペースが充分にある。ベッドサイズが統一され、ベッド移動が不要)</li> <li>▲廊下が広い</li> <li>■窓があり明るい</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>●○医療器具が目立ちすぎない</li> <li>□季節感のある装飾</li> <li>□時間を知らせてくれるものがある</li> <li>□廊下や自分、友達の名前が飾られている</li> <li>●適切な高さの手すり</li> <li>□腰掛けられる場所がある</li> <li>□イベントやスタッフの紹介ボードがある</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>▲手洗いが複数ありすぐに使える</li> <li>●消毒が目立つ所にある</li> <li>●○医療器具が目立ちすぎない</li> <li>□腰掛けられる場所がある</li> <li>■●絵や子どもの作品が飾られている</li> <li>▲◆スタッフの紹介ボードがある</li> <li>▲◆スタッフの紹介ボードがある</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>▲手洗いが複数ありすぐに使える</li> <li>▲△収納スペースが充分にある(車いす、ベッド、リネン、機器、遊具玩具等)</li> <li>■○収納スペースが自立しない</li> <li>■○収納スペースには必要に応じて扉があり塵埃管理や配線ができる</li> <li>●○無配慮に裏紙が貼られていない</li> <li>▲△スタッフの紹介ボードがある</li> <li>●適切な高さの手すり</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>▲手洗いが複数ありすぐに使える</li> <li>▲△収納スペースが充分にある(車いす、ベッド、リネン、機器、遊具玩具等)</li> <li>●○無配慮に裏紙が貼られていない</li> <li>●○絵は継続に入れ展示の意図を明確にする</li> <li>▲△展示物や掲示物に埃が溜まらないよう管理する</li> <li>▲△スタッフの紹介ボードがある</li> </ul>
遊戯場所・遊具	<ul style="list-style-type: none"> <li>■発達年齢に応じた遊戯場所、遊具、玩具、仕掛けがある</li> <li>■様々な種類の遊び(遊びの種類、遊び集団の大きさ)ができる場所と玩具がある</li> <li>□様々な大きさの複数の場所があり、複数のグループがそれぞれで遊べる</li> <li>□靴を脱いで遊ぶ</li> <li>■ハイハイをするスペースがある</li> <li>●子どもたちが集まる場所がある</li> <li>★イベントにも使える広さがある</li> <li>●感染の心配がなく利用できる</li> <li>●転倒時の安全性に配慮した床仕上げ</li> <li>■清潔をしない場所との位置づけがある</li> <li>■家庭に近い環境である</li> <li>■シンボルになるような遊具がある</li> <li>■病室からアクセスしやすい</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>★複数の家族が居合わせられる</li> <li>■充分なスペースがありゆとりで利用できる</li> <li>●感染の心配がなく利用できる</li> <li>●●複数の場所があり感染への抵抗力や体調で使い分けられる</li> <li>■●いつでも利用できる</li> <li>■大人も休める場所や設えがある</li> <li>■家庭に近い環境である</li> <li>■畳や絨毯敷きで上で遊べる</li> <li>●遊具や玩具の安全と衛生管理に配慮がなされている</li> <li>●不安定な足場がない</li> <li>●転倒の心配が少なく転倒時にも安心な床素材</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>★▲動線上にあり様子見・声かけしやすい</li> <li>▲△NSから見守りやアクセスがしやすく、緊急時の対応が容易</li> <li>■大人が付き添いやすい場所や設えがある</li> <li>▲△子どもたちが集まる場所がある</li> <li>■○小規模のシンボルである</li> <li>■●複数の場所があり年齢に応じて使える</li> <li>■遊具や玩具の安全と衛生管理に配慮する</li> <li>●掃除や消毒がしやすい</li> <li>●必要に応じて遊具やかんを片付けられる(収納場所、施設、高さによる管理)</li> <li>●転倒の心配が少なく転倒時にも安心な床素材</li> <li>●物品の管理ができる収納</li> <li>●子どもが不用意に高所に登れない設え</li> <li>●不安定な足場(になる箇所)がない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>★○子どもたちが集まる場所がある</li> <li>▲△NSから見守りやアクセスがしやすく、緊急時の対応が容易</li> <li>▲▲動線上にあってオープンで、声かけや様子見しやすい</li> <li>▲○小規模のシンボルである</li> <li>■●複数の場所があり年齢に応じて使える</li> <li>■大人が付き添いやすい場所や設えがある</li> <li>▲玩具が定期的に変わる</li> <li>▲発達の様子が変わる玩具がある</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>★カウンターが子どもの高さになっている</li> <li>▲△スタッフシフトが確認できる</li> <li>▲人がいることがわかる</li> <li>■○中の様子が直接は見えない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>★●声かけやすい</li> <li>▲△中の様子がよく見える</li> <li>■○医療業務が直接は見えない</li> <li>▲◆スタッフシフトが確認できる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>▲△スタッフだけのスペースである</li> <li>▲△作業や移動のスペースが充分にある</li> <li>▲△パソコンなどの機器が充分に揃っている</li> <li>▲△収納スペースが充分である</li> <li>▲△作業場と収納スペースの位置関係が適切</li> <li>▲△病棟の中心にありアクセスしやすい</li> <li>▲●病棟を見渡しやすい、出入りがわかる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>▲△作業や移動のスペースが充分である</li> <li>▲△収納スペースが充分である</li> <li>▲△パソコンなどの機器が充分に揃っている</li> <li>▲△病棟の中心にありアクセスしやすい</li> <li>▲△処置室が見える</li> <li>▲△病棟を見渡しやすい</li> </ul>
院内学級	<ul style="list-style-type: none"> <li>■近い場所に院内学級がある</li> <li>■院内学級の経路に楽しましがある</li> <li>■設備が充実している</li> <li>■植物が育てられる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■病棟から近く、体調不良時に行きやすい</li> <li>●○他科受診者の動線や滞在場所と重ならず移動できる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>□院内学級として以外の利用もできる</li> <li>▲病棟から近く、体調不良時の対応が容易</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>□病棟から行きやすい位置にあり移動が容易</li> <li>▲体調不良時に対応しやすい</li> <li>□△入院生活の楽しみや院外との接触機会になり、治療への意欲をもてる</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>■病棟から近い場所にある</li> <li>□○自然の要素や四季の変化が楽しめる</li> <li>□○身体を動かすスペースがある</li> <li>●安全に運動できる(床仕上げなど)</li> <li>□適度な日照と通風がある</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■病棟から近い場所にある</li> <li>□○自然の要素や四季の変化が楽しめる</li> <li>●○子どもを見守りやすい</li> <li>●安全に運動できる(床仕上げなど)</li> <li>□○外気や日照を感じられる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■病棟から近い場所にある</li> <li>□○自然の要素や四季の変化が楽しめる</li> <li>●○子どもを見守りやすい</li> <li>□イベントに使用できる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■病棟から近い場所にある</li> <li>▲△自然の要素や四季の変化が楽しめる</li> <li>▲△自然の要素や四季の変化が楽しめる</li> <li>▲△外気や日照を感じられ、気分転換ができる</li> <li>▲△子どもを見守りやすい</li> </ul>
コナナなど	<ul style="list-style-type: none"> <li>■日常生活らしさがある(ソファなど大人のサイズの家具、色彩など)</li> <li>□○病室以外の場所がある</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■病棟内で座って話ができる</li> <li>□○病室以外の場所がある</li> <li>●きょうだいからの感染の心配がいない</li> <li>■家族で食事がとれる</li> <li>■携帯が使用できる場所がある</li> <li>■喫煙スペースがある</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>★動線上にあり様子見や声かけしやすい</li> <li>▲△廊下などにちょっとしたスペースがあり簡単な相談や確認の話ができる</li> <li>■病室、プレイルーム以外に家族が落ち着いて滞在できる場所がある</li> <li>■家族同士が話せる場所がある</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>★動線上にあり様子見や声かけしやすい</li> <li>▲△廊下などにちょっとしたスペースがあり簡単な相談や確認の話ができる</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>□病棟以外の居場所がある</li> <li>□○窓があり開放的、景色がよい</li> <li>□○自然の要素がある、生き物がいる</li> <li>□○絵や彫刻などが飾られている</li> <li>●感染に対する配慮がある</li> <li>□○シンボルがある</li> <li>□○人数で使える</li> <li>□○人の気配がある</li> <li>□病棟の外のことわかるものがある(テレビ、新聞など)</li> <li>□本人人形などの楽しみになるものがある</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>□○病棟以外の居場所がある</li> <li>□○病棟であることを忘れられる雰囲気</li> <li>●●充分な広さがあり親子でくつろげる</li> <li>□開口や視線が開放的、景色がよい</li> <li>□○自然の要素がある、生き物がいる</li> <li>□○絵や彫刻などが飾られている</li> <li>◆気軽に利用できる位置にある</li> <li>●●きょうだいがいられるスペースがある</li> <li>■一人や大人数でも利用しやすい設え</li> <li>●感染に対する配慮がある</li> <li>□病棟の外のことわかるものがある</li> <li>□いろいろな種類の本がある</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■窓があり開放的、景色がよい</li> <li>▲△大人が使える</li> <li>▲△抱擁が通る</li> <li>●●家族が待っている場所がある</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■窓があり開放的、景色がよい</li> <li>▲△大人が使える</li> <li>▲△抱擁が通る</li> <li>●●家族が待っている場所がある</li> <li>■病棟外に居場所があり気分転換ができる</li> </ul>

図2 小児の療養環境評価項目(抜粋) ■生活(必須、基本) □生活(楽しみなど) ◆付添 ●安全・衛生 ○気分 ▲観察 ▲治療 ★交流 ☆関係構築

造を含む環境評価項目を示した(図3)。

#### 4) 環境づくりの実践と検証

本研究の成果を活かし、小児病棟の改修事例に対して病棟プレイルームの計画に参画し、環境づくりの実践を行った。またその効果をPOE研究によって確認した。この実践と検証は、現場と環境づくりの意義や価値、方法を共有する試みであった(写真)。

#### 5) 環境づくりの構造の図化表現



写真 T病院新病棟プレイルーム



図3 療養環境の評価に関する発語の類語整理と環境評価項目の導出

